

支部だより

湊西支部

手話サークル 積み重ねが大切

「歌声やカラオケサークルに代わるものがあれば」と支部で検討していた時、声を出さない、飛沫が飛ばない「手話が良いのでは」と講師を探していました。たまり場に



講師の磯野さん



野さんが、「私で良ければ」と申し出てくれて、トントン拍子に話が進みました。磯野さんは30年前、手話通訳士をめざし

て勉強されていきました。さっそく3月からスタート。第1回目は、「手話の歴史」。成り立ちなど、詳しく教わりました。手話に触れたことがない私たちには、とても新鮮でした。

また自己紹介の表現方法や、童謡「ふるさと」を歌詞に合わせて学びました。手の向きが逆だったり、思うように指が動かなかったりと、脳ミソがフル回転です(笑)。習ったことはすぐ忘れるので、「積み重ねが大切」と感じました。

6月から月2回開催しています。一緒に楽しみながら学んでみませんか。

平和行進、恒例の団扇配り 毎年の楽しみに！

浜寺支部

市役所まで元気に歩きました。

7月3日、国民平和大行進に参加。事前の天気予報では、曇り、もしくは雨だったのですが、お日さまばっちりの晴れ模様、汗だくの行進になりました。コロナ禍で行進の人数も少なめ、音も宣伝力への静かな語りのみでしたが、ソーシャルディスタンス(?)を保ちながら、浜寺公園から堺

途中、石津太神社での休憩場所では、日本共産党のお茶サービスとともに、浜寺支部の面々が絵と言葉を記した団扇を配布しました。行進の方々にほぼ30枚余配りました。毎年恒例になっているので楽しみにしている人もいて、今年も好評で



暑い昼中、参加された皆さん、ご苦労さまでした。

(支部長 藤田敦夫)

医療 の現場から Vol.17

無料低額診療の活用を コロナ禍での医療費相談

コロナ禍で、「収入が減った」「職を失った」「医療費支払いが心配」と相談に来られる方が増え、それにと
もない、無料低額診療事業(以下、無低診)の申請数も増えてい

ます。相談の多くは、就労で主に収入を得られている世代の方ですが、中には、年金不足を就労収入で補われていた高齢者の方からの相談

もありません。ナ禍の影響が大きく出ているところが多いです。相談をうかがう中で、無低診につながることも多いのですが、無低診は、同仁会の医療機関での医療費の不

安を軽減することではできませんが、他の医療機関での医療費や生活費に困窮する状況をお手伝いすることができません。コロナが収束するまで、「貯蓄を切り崩す」「公的貸付や知人・親戚に生活資金を借りることで乗り切る予定」とのお話をよく聞かれます。しかし元の生活への回復の目処が立ちにくくなる中で、貸付金や「借金

もありません。就労の雇用の形は非正規・日給や時給制、仕事の種類では旅行・宿泊業、飲食業、販売業、自営業など、コロナ禍で、「貯蓄を切り崩す」「公的貸付や知人・親戚に生活資金を借りることで乗り切る予定」とのお話をよく聞かれます。しかし元の生活への回復の目処が立ちにくくなる中で、貸付金や「借金」ではない生活保障の給付金や、どの医療機関でも活用できる国保44条(医療機関窓口支払い減免制度)の柔軟適用などの必要性を日々感じます。(耳原総合病院 医療ソーシャルワーカー 太平路子)

の返済不安は、大きくなるばかりです。「こんなに長い間、生活がしんどい状況が続くとは思わなかった」という共通した声が聞かれます。生活再建の目処が立ちにくい時だからこそ、公的な仕組みがしっかりと機能し、「借金」ではない生活保障の給付金や、どの医療機関でも活用できる国保44条(医療機関窓口支払い減免制度)の柔軟適用などの必要性を日々感じます。(耳原総合病院 医療ソーシャルワーカー 太平路子)

「核兵器のない世界を」と アピール 2021国民平和大行進

7月3日、国民平和大行進が行われました。和泉市役所を9時に出発

し、泉大津市役所・高石市役所・浜寺公園・堺市役所のコースです。コ

ナ禍で人数が制限され、声も上げられない、暑い中での行進でしたが、2021年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」を力に、参加者は核兵器廃絶をアピールしなが

ら、堺市役所まで歩きました。6月26日には、泉ヶ丘網の目行進が行われ、約30分、泉ヶ丘駅周辺で「核兵器のない世界」とアピールしました。



無料・低額診療制度とは

経済的な理由のために必要な医療が受けられないことがないように、社会福祉法に基づいて、無料、または低額で医療が受けられる制度です。収入状況が確認できる書類を添えて申請し、基準を満たせば適用されます。